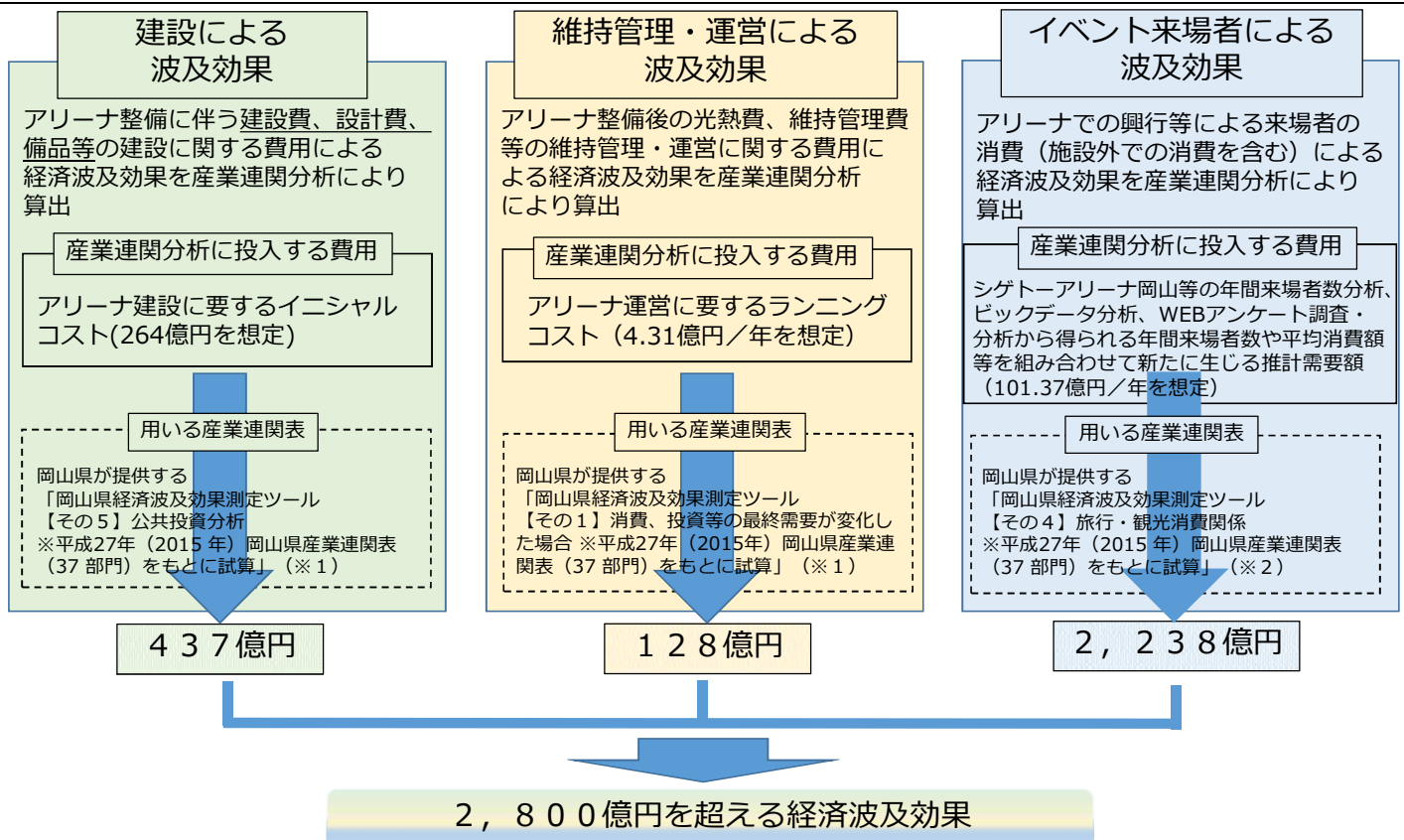


NO.	ご質問	回答
1	アリーナと体育館の違いは何ですか	○体育館は、スポーツを「する」ことが目的の施設であり、アリーナは、スポーツを含めた様々なイベントを「観る、魅せる」ことが目的の施設です ○今回計画するアリーナは、これまで岡山にはなかった「観る・魅せる」施設であり、スポーツやコンサートを通じた一体感や誇りの醸成、新たなにぎわいの創出など、岡山に新しい景色を創り出すものと考えています
2	アリーナができないと何が困るのですか	○地元トップチームが、最高峰のリーグで活動することができなくなり、活動が継続できなくなることが懸念されます ○アマチュア団体では、交通利便性と大規模大会のキャパシティを両立できる会場の慢性的な不足が解消されず、さらなる大会誘致ができなくなります
3	なぜ北長瀬なのですか	○アリーナ建設計画地につきましては、経済界から現在の計画地である市の土地を候補地とした提言を受けた後、基礎調査の実施など、岡山市において調査・検討を行いました ○候補地は岡山駅や市内からのアクセスの良さに加え、商業施設や公園に近接している立地の良さ、市が保有する未利用地のうち、アリーナが建設可能な広さを有していることなどから、この場所を計画地としたものです
4	1万人規模のアリーナは今のトップチームには過大ではないですか	○独立採算の実現には、コンサート等のイベント誘致が必須であり、追加調査時のエンタメ事業者等へのヒアリングでは、岡山の立地であれば最大収容人数1万人、コンサート利用時7,000席から8,000席がコンサート誘致に適正な規模であるとの結果となりました ○各チームにおかれましては、それぞれの創意工夫により、集客やチーム運営をしていただけるものと期待しております
5	中途半端なものを作らず、例えば5万人規模のものを作るべきでないですか	○令和6年度に実施した追加調査によると、本市においては、最大収容者数1万人を超える施設は利用が限られ、ランニングコストの増大も踏まえると収支は赤字となる可能性が高まるとの結果となっており、現在の規模が最適と考えております
6	儲かる施設なら民間主導でやればいいのではないのですか	○民間資本により本市が想定するアリーナ整備が実現するのであれば望ましいと考えますが、大都市圏を除く地方都市においては、地元企業による建設や、再開発事業を絡めての建設という事例が少数あるものの、いずれも本市では当てはまりにくいと考えています ○本市においては、官民が適切な役割分担のもと、実現に向けて協働する今の形が相応しいのではないかと考えています

NO.	ご質問	回答
7	アリーナ整備して本当に岡山市にライブが来るか不安です	○関西・中四国のイベントプロモーターへのヒアリングにおいて、現建設予定地であれば、広島グリーンアリーナと同等の開催が可能と伺っております。
8	なぜ寄附が50億集まっていないのに事業化したのですか	○寄附金については、事業決定前の時点で過半を超える27億円もの申し出をいただいております、関心の高さを感じています ○事業決定後に寄附をしてくださるという企業もあり、また、事業期間が長期にわたることから、目標達成の道筋がついたものと判断し、事業化を決断しました ○個人寄附についても、受け入れを開始しておりますので、皆様からのご協力をお願いします
9	アリーナ整備することによって市民税を増やされたりしませんか	○アリーナ整備をすることにより、市民の皆様には新たな負担をお願いすることはありません
10	ハレノワとの違いは何ですか	○ハレノワの大劇場の収容人数は約1,800名であり、一般的に「ホール」に分類され、主に優れた舞台芸術作品の鑑賞機会の提供を目的としています ○ハレノワの詳細については以下をご参照ください https://www.city.okayama.jp/shisei/0000056609.html
11	経済波及効果の算出方法について教えてください	○アリーナ整備に伴う建設費、整備後の維持管理・運営費、アリーナでの興行等による来場者の消費等について産業連関分析を行い、算出しています ○詳細は別紙をご確認ください ※別紙のイベント来場者による波及効果の産業連関分析において、使用した推計需要額及びその内訳について、記載内容に誤りがあったため、修正いたしました なお、波及効果の算出結果に変更はありません (R8.8.31修正)

経済波及効果の算出方法について（20年間）

岡山市スポーツ振興課



※1 岡山市内の経済波及効果は、県と市の産業連関表（取引基本表）に計上されているそれぞれの需要合計の比率を用いた按分により、岡山県のツールを改良し、算出
 ※2 岡山市内の経済波及効果は、取引基本表、投入係数表、逆行列係数表のシートの数値を市の産業連関表の取引基本表をもとに算出した各種数値に差し替えて、市の産業連関表に基づくツールに改良し、算出

経済波及効果の算出方法について（20年間）

岡山市スポーツ振興課

産業連関分析に使用したコストの内訳

建設による波及効果

アリーナ建設に要するイニシャルコスト（建設期間中）

単位：百万円

項目	アリーナ建設費	道路改修	デッキ整備	設計費	備品費	計
金額	22,872	130	1,839	500	1,100	26,441 (約264億円)

維持管理・運営による波及効果

アリーナ運営に要するランニングコスト（毎年）

単位：百万円

項目	維持管理運営費	水光熱費	計
金額	291	140	431/年 (4.31億円)

イベント来場者による波及効果

シゲトーアリーナ岡山等の年間来場者数分析、ビックデータ分析、WEBアンケート調査・分析から得られる年間来場者数や平均消費額等を組み合わせて新たに生じる推計需要額（毎年）

項目	イベント来場者数	消費単価	消費金額(※2)
数値	46.6万人	※1	101.37億円/年

(※1) 消費単価：アンケート結果をもとに分野、居住地、消費先の累計30パターンを設定

※分野（飲食費、交通費等）、居住地（市内、市外、県外）、消費先（市内、市外）

(※2) 消費金額：イベント来場者数46.6万人に各消費単価(※1)および利用率を乗じて算出

(R8.8.31修正版)